

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和元年12月25日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 遺族給付金支給裁定申請受付について
- ・ 運転免許の取消処分について
- ・ 警察職員の特別派遣について

2 審議事項

- (1) 県警察から、福島県公安委員会からの警察職員の援助要求があった旨の報告があり、審議した結果、原案のとおり特別派遣することを了承した。

委員から、『寒い時期でもあり、健康に留意して頑張っていたいただきたい。承認する。』との発言があった。

3 報告事項

- (1) 令和元年11月中の警察安全相談受理状況について

県警察から、令和元年11月中の警察安全相談受理状況に関する報告があった。11月中の警察安全相談受理件数は1,552件と、前月より18件(1.2%)増加した。相談内容は警察活動全般にわたっており、生活安全部門に関する相談が975件と最も多く、次いで刑事部門に関する相談が396件であった。特殊詐欺に関する相談件数は257件と、前月より48件増加した。11月中に相談を端緒に事件化した事案は2件とのことであった。

委員から、『特殊詐欺は色々な手口が次々に出てくる。相談に対して丁寧な対応をお願いします。』との発言があった。

- (2) 令和元年度「命の大切さ学習教室」の開催結果について

県警察から、令和元年度「命の大切さ学習教室」の開催結果に関する報告があった。

令和元年5月24日から10月23日までの間、県内の小学校2校、中学校3校、高等学校3校において、犯罪被害者等が受けた痛み、子供を亡くした親の思いなどへの理解を深め、規範意識の向上及び学校や家庭から地域社会全体へと犯罪被害者等を支える気運の醸成を図るため、「命の大切さ学習教室」を開催したとのことであった。

委員から、『講演していただく方にとっては、被害のことを話すことは辛いことだと思うが、子ども達は本当に命の大切さを知ることが出来る貴重な機会である。引き続き講演をお願いしたい。』との発言があった。

(3) 街頭防犯カメラの設置について

県警察から、街頭防犯カメラの設置に関する報告があった。
街頭防犯カメラを由利本荘市と横手市に各5台設置し、令和2年1月1日から運用開始予定であるとのことであった。

委員から、『防犯カメラの使用については適正な運用をお願いする。』との発言があった。

(4) 新型警察用船舶の配備について

県警察から、新型警察用船舶の配備に関する報告があった。
県警察で運用してきた警察用船舶「あおさぎ」に代わり、警察庁から新型船舶が配備され、令和2年4月から、新型の警察用船舶「あおさぎ」として運用予定とのことであった。

委員から、『今回、これまでよりも大型の船が配備されることから期待している。県民にとっても心強い配備である。』との発言があった。

(5) 令和2年「110番の日」広報イベントの開催について

県警察から、令和2年「110番の日」広報イベントの開催に関する報告があった。
令和2年1月9日、イオンモール秋田セントラルコートにおいて、110番通報の適切な利用を広く県民に周知するため、「110番の日」広報イベントを開催する。
県内各警察署でもイベントを開催予定とのことであった。

委員から、『必要な時に適切に110番できるよう、この機会に広く広報していただきたい。』との発言があった。

(6) 年末の交通安全運動の実施結果について

県警察から、年末の交通安全運動の実施結果に関する報告があった。

12月11日から12月20日までの10日間、「子供と高齢者の交通事故防止」を基本とした年末の交通安全運動が実施され、各警察署等において、関係機関・団体等と連携し、各種行事、キャンペーンを実施した。

運動期間中の交通事故発生状況は、発生件数47件、死者数3人、負傷者数54人で、前年同期に比べ、発生件数は23件減少、死者数は1人増加、負傷者数は33人減少したとのことであった。

委員から、『寒い中の交通安全運動で難儀をかけたが、確実に効果が出ていると思う。これ以上死亡事故が発生しないよう年末の指導・取締り活動を頑張っていたきたい。』との発言があった。

○ 国家賠償等請求訴訟上告棄却決定への公安委員会コメント

この度の弁護士殺害事件に係る訴訟の最高裁決定につきましては、県民の生命を守るべき県警察の対応に関して過失が認定されたものであり、県警察の管理に当たる県公安委員会としても重く受け止めております。

この機会に、本件のような事案を二度と繰り返さないため、

- ・ 県警察は、県民の生命・身体・財産の安全を担っているという重責を改めて自覚すること
- ・ 本件の教訓として取り組んでいる意識改革、実戦的な訓練の充実、装備資機材の活用等をはじめとする再発防止策をこれまで以上に推進していくこと
- ・ 全国で発生している一般市民を標的とした凶悪な殺傷事件や交番駐在所襲撃事案等の事例も教訓として、県民の安全を守るための現場執行力の強化に不断に取り組んでいくこと

以上3点を公安委員会から要望します。